

第76回教育課程小委員会議事録

1 日時・場所

2018年9月22日(土) 13:10-16:50 学会ビル地下会議室

2 参加者

矢島ミ、渡邊、畠山、瀧上、宮嶋、南島、丹羽、川村、藤原、飯田、小林、横山、市川

3 前回議事録案の承認

ごく一部の誤記を修正して承認された

4 中教審関連・理数系学会・他研究団体・学術会議等の情勢報告

- ・次期高校学習指導要領が3月に告示、7月に同解説が公開されたことが報告された。
- ・学術会議 地球惑星科学委員会人材育成分科会 地学・地理学初等中等教育検討小委員会が5月に設立され、本委員会から市川、畠山、宮嶋委員が参加し、議論が始まったことが報告された。
- ・5月に理数系学会連絡協議会が開催され、メンバーが確定し、シンポジウム開催の可否及び教員免許状の課程認定についての問題点について検討がなされたことが報告された。

5 教育検討委員会関連の報告事項

- ・2018JpGUパブリックセッションについて、参加者数、議論になった課題等について報告がなされた。
- ・次期教育検討委員会の役員体制案について、畠山委員長より報告があった。
- ・CD版「埼玉から地学 地球惑星科学実習帳」について、連合大会及び地学教育学会年会において頒布がなされ、残数が883枚であることが報告された。また、将来的にCDに地理の実習を含めてはどうかという指摘があった。
- ・10月にAGIとの共催で静岡県を中心に巡検が行われ、国際対応小委員会が準備を進めているとの報告がなされた。
- ・11/10, 11に大学入試新テストのプレ試験が行われるとの報告がなされた。
- ・8月に京大防災研研究集会「地学教育の展望-来たるべき南海トラフ地震に備えて-」が開催され、本委員会から複数名の参加があったことが報告された。
- ・次年度の地学教育学会年会は秋田で行われる予定であることが報告された。
- ・2022年の国際地学教育学会が島根県で行われることに決定したとの報告がなされた。

6 協議

(1) 次期高校指導要領についての対応

藤原委員が作成した資料に基づいて、主に地学基礎に関して新旧の学習指導要領解説の比較を行った。特に天文分野が削減されたこと、実験・観察に基づき単元の展開が図られることが話題になった。それに伴い、JpGUから教科書会社に対して、必ず行うべき実験を提案してはどうかという意見が出された。

(2) 次年度連合大会、セッション提案について

パブリックセッションの趣旨の改訂があり、従来通りの高校地理・地学教育に特化したままでの開催は難しいとの判断から、一般市民、学生、研究者など様々な観点から教育を語る場とすることを目指し、あくまでパブリックセッションでの開催を目指すことを確認した。なお、教育は地球科学研究のベースであるから、コアの発展のためにも、パブリックセッションでの教育枠を確保することを強く要望することを全会一致で決議した。

(3) 今後の活動について

今年度内には、教育検討委員会のHP管理を軌道に乗せ、まず、これまでのパブリックセッションの配付資料を掲載することを確認した。

次年度の開催を想定している「全国高校教員情報交換会(仮称)」については、次回の小委員会で議論することとした。

7 次回小委員会

次年度パブリックセッションの採択結果を受けて、次回の小委員会の日程を検討することを確認した。